

令和 8 年度

地籍調査測量業務委託（鷹巣第 1）

仕様書

北秋田市財政課地籍調査室

# 業務仕様書

(総則)

第1条 本業務の実施については、昭和32年総理府令第71号地籍調査作業規程準則（令和6年6月28日国土交通省令第73号改正）に定めるもののほかは、この仕様書に定めるところによるものとする。

(実施計画)

第2条 受託者（以下「乙」という。）は、本業務着手前に工程別実施計画表を作成し、委託者（以下「甲」という。）に提出し、承諾を得るものとする。

(実施者)

第3条 乙は、本業務着手前に現地作業従事者名簿を作成し、甲に提出するものとする。なお、作業途上において入れ替えがあった場合は、その都度報告するものとする。

(縮尺、精度区分)

第4条 本業務の縮尺、精度区分は設計書のとおりとする。

(業務の実施)

第5条 本業務は、原則として地籍調査作業規程準則によるものとし、必要に応じて甲乙協議して行うものとする。

2 地籍細部測量の成果と隣接する調査済み（登記済み）地区の筆界が合致しない場合は、甲乙協議の上再測量するものとする。

3 乙は、甲からの要請があった場合には、説明会等に参加し、必要に応じて補足説明等を行うものとする。

(参考資料の提出)

第6条 前条第3項の説明会等にあたって、乙は甲から必要と認められる資料の要求があった場合には、速やかに提出するものとする。

(業務実施上の注意)

第7条 本業務は、交通その他公衆に迷惑をかけないように注意して行うものとする。

2 本業務にあたっては、努めて立木、農作物、工作物等に支障のないように行い、支障を及ぼした場合は乙の責任において処理するものとする。

3 本仕様書に記載のない事項については、甲の指示を受けて行うものとする。

(成果品の提出)

第8条 成果品の作成にあたっては、甲の指示に従い承認を得て行うものとする。

2 本業務において提出する成果品は、別表によるものとする。

(業務の完了)

第9条 本業務は、所定の成果品を提出し、成果品の検査に合格した時をもって完了したものとする。

2 本仕様書に疑義を生じた場合には、甲乙協議して行うものとする。

3 業務完了後、第1項の検査に合格し完了を認められる場合であっても、過ちが発見された場合には、甲乙協議し再測量及び修正するものとする。

別表

成果品目

(C工程)

- 1 基準点等成果簿写し 一式
- 2 地籍図根三角點選点手簿 一式
- 3 地籍図根三角點選点図 一式
- 4 地籍図根三角測量観測計算諸簿 一式
- 5 地籍図根三角点網図 一式
- 6 地籍図根三角点成果簿 一式
- 7 精度管理表 一式
- 8 測量標の設置状況写真 一式
- 9 その他準則及び運用基準により必要なもの

(FⅠ・FⅡ-1工程)

- 1 細部図根測量観測計算諸簿 一式
- 2 細部図根点網図 一式
- 3 細部図根点成果簿 一式
- 4 細部図根測量精度管理表 一式
- 5 一筆地測量観測計算諸簿 一式
- 6 一筆地測量精度管理表 一式
- 7 筆界点成果簿 一式
- 8 その他準則及び運用基準により必要なもの